

科目名	確率統計 Probability and Statistics			担当教員	一色 弘三		
学 年	4 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	16235016	単位区別	履修
学習目標	確率と統計の基本的な事柄を理解し、具体的な問題に応用できるようにする。確率については、確率の定義と性質、それに基づいた確率の計算、二項分布・ポアソン分布・正規分布などの確率分布を学ぶ。統計については、データの整理、平均・分散・標準偏差の計算、相関係数と回帰直線、母数の推定などを学ぶ。						
進め方	授業時間ごとに、学習内容の解説と関連する例題を講義する。適時、教科書の間、練習問題など課題演習を行うことにより内容の理解を深める。内容により、作成したプリント問題を解いたり、レポート提出問題を課したりする。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 確率 (15) (1) 確率の定義と基本性質 (2) 余事象の確率、加法定理、期待値 (3) 条件付確率と乗法定理 (4) 事象の独立 (5) ベイズの定理 ----- [前期中間試験] (1)			いろいろな確率を求めることができる。 D1:2			
	2. 答案返却・解答 (1) 3. 1次元および2次元データの整理 (14) (1) 度数分布 (2) 代表値と散布度 (3) 平均、分散、標準偏差、四分位 (4) 相関 (5) 回帰直線 前期末試験			データの整理と統計計算ができる。 D1:2 平均、分散、標準偏差を求めることができる。 D1:2 相関係数、回帰直線を求めることができる。 D1:2			
	4. 答案返却・解答 (1) 5. 確率分布 (13) (1) 確率変数と確率分布 (2) 二項分布 (3) ポアソン分布 (4) 正規分布 (5) 確率変数の関数 ----- [後期中間試験] (1)			正規分布に関する確率計算ができる。 D1:2			
	6. 答案返却・解答 (1) 7. 推定と検定 (13) (1) 点推定 (2) 母平均の区間推定 (3) 母分散の区間推定 (4) 仮説と検定 (5) 母平均の検定 後期末試験			簡単な区間推定を求めることができる。 D1:2			
	8. 答案返却・解答 (2)						
	評価方法						
	試験 80%，レポート・演習等 20%の比率で評価する。						
履修要件							
特になし。							
関連科目							
基礎数学Ⅰ・Ⅱ(1年) → 基礎数学Ⅲ，微分積分学Ⅰ(2年) → 微分積分学Ⅱ，数学解析(3年) → 応用数学(4年)， <u>確率統計(4年)</u>							
教 材							
教科書：高遠節夫 他 著 「新 確率統計」大日本図書							
備 考							
オフィスアワー：毎月曜日放課後～17:00							